
平成28年度 赤十字血液シンポジウム 関東甲信越 のご案内

平素より日本赤十字社の血液事業にご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今般、日本赤十字社では下記の会場において、平成28年度赤十字血液シンポジウム 関東甲信越を開催いたします。

ご多忙中恐縮ではございますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

日時：平成28年12月3日（土）13：30～17：00

会場：幕張メッセ 国際会議場 コンベンションホール
（千葉県千葉市美浜区中瀬 2 - 1）

プログラム等の詳細は、別紙をご参照ください。

◎参加費は無料です。

◎本シンポジウムは次の制度の単位となります。

- ・日本医師会生涯教育制度
- ・日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
- ・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
- ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度

平成28年 12月3日(土) 13:30~17:00 [12:30 開場]

幕張メッセ 国際会議場 コンベンションホール
〒261-8550 千葉県美浜区中瀬2-1

参加費無料
事前登録は要りません

● 第一部 ● 輸血副作用とその対策

(13:30~15:15)

座長 井関 徹 (千葉大学医学部附属病院)
増岡 秀一 (東京慈恵会医科大学附属柏病院)

I 日本赤十字社に報告のあった輸血副作用・感染症の現状

平 力造 (日本赤十字社 血液事業本部)
追加発言: 高橋 雅彦 (日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター)

II 洗浄血小板について

1 供給状況について

杉山 朋邦 (日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター)

2 細菌繁殖と外観変化について

松本 真実 (日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター)

3 製造・品質について

平山 順一 (日本赤十字社 中央血液研究所)

4 適応について

半田 誠 (慶應義塾大学病院)

● 第二部 ● 医療機関における輸血の課題

(15:35~17:00)

座長 伊藤 国明 (国保直営総合病院 君津中央病院)
藤田 浩 (東京都立墨東病院)

III 血液センターでの赤血球関連依頼検査の現状

常山 初江 (日本赤十字社 関東甲信越ブロック血液センター)

IV 在宅輸血の現状 ~訪問診療医師の立場から~

松尾 英男 (えびす英クリニック)

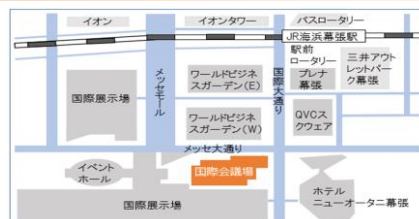
V 小規模・在宅輸血を考える

~日本輸血・細胞治療学会 ガイドライン策定タスクフォースの見解~

北澤 淳一 (青森県立中央病院)

アクセス

- ・JR京葉線「海浜幕張駅(東京駅から約30分、蘇我駅から約12分)」徒歩約5分
- ・JR総武線・京成線「幕張本郷駅(秋葉原駅から約40分)」から「幕張メッセ中央」行きバスで約17分



- ◎ 本シンポジウムは以下の制度の単位となります
- ・日本医師会生涯教育制度
 - ・日本輸血・細胞治療学会等が指定する認定制度
 - ・日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度
 - ・日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度

主 催: 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター
後 援: 日本医師会、日本輸血・細胞治療学会、日本臨床衛生検査技師会
事務局: 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター 学術情報課 TEL03-5534-7678